思わずやっちゃた！海でのこんな失敗

海でのうっかり防止や安全対策の参考に「失敗談」を全国調査

今年の夏はどこかおかしい！？夏休みに入ってもうっとうしい梅雨空が続き、タンスに仕舞った長袖をまた出すほどの冷夏。その分本格的サマーシーズンには、海やプールにとマリンレジャーを思いっきり楽しもうという人は多いのではないでしょうか。

しかし、燦燦と輝く太陽や青い海にウキウキしてばかりだと、思わぬ痛い目や恥ずかしい目に合うかもしれません。「人の振り見て我が振り直せ」。この夏皆様が海で安全かつ楽しく遊ぶための、うっかり防止や安全対策の参考にできればと**「思わずやっちゃた！海でのこんな失敗」**をＢ＆Ｇ財団が全国の方々から調査いたしました。

- **調査概要**
- うっかりでは済まされない。「溺れた・流された人が第１位」
- だれでも一度は熱い経験。　「日焼けの失敗」
- なんで砂浜のこんなものが？「浜辺・岩場で怪我をした」
- さわらぬ神に・・・・。　「海の生物でひどい目に。」
- え！そんなものまで忘れるの？「忘れ物・紛失・盗難。」
- 笑っちゃ失礼！？「なさそうで、ありそうな体験談」

※回答は一部抜粋または要約・編集して記載しているものがあります。

砂に埋められた友人は、あわや溺死寸前！！

調査について

■調　査　時　期　　２００3年5月12日 ～ 6月３０日

■調　査　対　象　　全国の男女（年齢問わず）

■調　査　方　法　　紙面・インターネットによるアンケート調査

■無作為抽出サンプル数　　１，０００

■サンプル内訳　　（単位：人）

	１０代	２０代	３０代	４０代	５０代以上	合　計
男　子	１１	１２６	１３２	６９	５１	３８９
女　子	２５	３２５	１９５	５３	１３	６１１
全　体	３６	４５１	３２７	１２２	６４	1,０００

回答集計

（単位：%）

	全　体	男性	女性
溺れた・流された。	18.8%	7.7%	11.1%
日焼けでひどい目にあった。	17.9%	5.8%	12.1%
水着が脱げた・ずれた。	13.5%	3.4%	10.1%
忘れ物・紛失・盗難。	13.2%	4.9%	8.3%
浜辺・岩場で怪我をした。	5.4%	2.1%	3.3%
海の生物でひどい目にあった。	5.0%	1.5%	3.5%
排泄系。	3.8%	2.0%	1.8%
迷子になった。	1.2%	0.4%	0.8%
体調不良。	1.1%	0.3%	0.8%
その他	20.1%	10.8%	9.3%
計	100%	38.9%	61.1%

■　うっかりでは済まされない！？「溺れた・流された人が第１位　18.8%も・・」

予想外の結果でした。溺れた（溺れかけた）・流されたなど、一歩間違えば取り返しのつかない大惨事となる体験を約２割の人達がしていました。

内容を分析すると、「泳ぎに自信がある人が過信しすぎたケース」「こんな浅瀬でまさか・浮き輪があるから大丈夫などと油断したケース」「ここは遠浅だなどとうっかり思い込むケース」の３つのパターンに大別できるようです。また番外として「遊びのつもりがあわや大惨事」など笑えない経験も寄せられました。

ケース１

【水泳のマスターズ大会にでています。サーファーの注意にも耳をかさず沖まで泳いでいたら、複雑な水流に巻き込まれ溺れる寸前。注意してくれたサーファーに救助されました。戻ってから気づきましたが、「本日遊泳禁止」の立て札が。】

ケース２

【子ども２人を波打ち際で遊ばしていました。少し大きな波だなと思っていたら子どもが足をすくわれ、ゴロゴロと海の方へ。必死に回りの人が救出してくれました。子ども達はかなり海水を飲んだらしく、二度と海へ行くとは言いません。】

ケース３

【ボート遊びを終え岸に戻ってきました。私はカナヅチですが海底が見えたのでもう足が着くと思い込み、船から飛び降りたら水面が頭のはるか上。気が付いたら砂浜に寝かされていました。海では光の屈折で実際より海底が近く見えるそうです。】

ケース４

【友人を数人がかりで砂に埋めて遊んでいました。途中潮が満ちてきましたが、ギリギリまで大丈夫とふざけており、いざ砂から出そうとしたら水を含んだ砂が重くて上がらない。あわや友人は溺死寸前でした。】

ケース５

【遠浅で有名な海水浴場、ここなら子どもに泳ぎを教えられると無理やり海の中へ。しばらく私の近くでバシャバシャしていましたが、急に姿が見えなくなりました。慌てて潜ると、息子が岩の裂け目にはまっていました。幸い水がきれいだったのですぐ発見できましたが、今思い出してもゾ～とします。】

調査に協力していただいた方は幸い大事故にはなりませんでしたが、マリンレジャーでは「過信」「油断」「思い込み」は厳禁と心がけましょう。

■　誰でも１度は熱い経験！？「日焼けの失敗が第２位　17.9%」

紫外線は肌に悪影響を及ぼすことは常識ですが、ついついやってしまうのが「肌の焼き過ぎ」。海の照り返しは想像以上に強いものです。日陰だから大丈夫、短時間だから大丈夫などと油断していると後で痛い目に会いますよ。

また、日焼け対策をしたつもりが思わぬ失敗など、日焼けにまつわる回答から、いくつかのケースをご紹介いたします。

ケース１

【パラソルの下なら日焼けは大丈夫と思い、日焼け止めも塗らず寝ていたら真っ赤っ赤。なんで日陰なのにと恨みました。】

ケース２

【浜辺で水着の上にＴシャツを着て海に入っている人を発見。なんか変！？と横目で見ながら海で遊んでいたら、肩より上が火ぶくれ状態。Ｔシャツの意味がわかりました。】

ケース３

【帽子をかぶらず炎天下に。髪が少し薄くなっていたせいか、なんと頭の皮がめくれてしまった。】

ケース４

【少し海で遊んでから日焼け止めを塗ろうと、荷物と一緒に炎天下の砂浜に置いていました。いざクリームを塗ろうと太ももにかけたら“ギャー”。クリームで火傷をしてしまいました。】

ケース５

【絶対日焼けはしたくないと全身に日焼け止めクリームを必要以上に何度も厚く塗りたくりました。結果、肌に炎症をおこし３ケ月の病院通いに。】

皮膚が赤くなり痛みを感じたらⅠ度の熱傷。皮膚に水疱（水ぶくれ）が出来るのはⅡ度の熱傷です。Ⅱ度以上の熱傷は自然治癒が難しい重症です。何事もほどほどに、この夏を楽しんでください。

■　なんで砂浜で怪我をするの？「浜辺・岩場などで怪我をした　5.5%」

日本が誇る富士山が世界遺産に登録されないのは、登山客が残すゴミの為だともいわれています。一部の良識に欠ける人の行為がその原因だとしたら、なんとも寂しい限りです。

不法投棄が後を絶たないゴミ問題。水着や裸足で過ごす機会が多い海水浴場では何気なく捨てたゴミが凶器となる場合も。皆が自覚すれば海水浴ももっと楽しくなるはずです。

ケース 1

【浜辺にビニールシートを引いて子ども達の遊ぶのを見ていた。そのまま横に寝そべった時お腹に激痛が、見るとおでんの串が刺さっていた。幸い脂肪に助けられたが。】

ケース 2

【海を見ながらタバコを一服。ジュースを買いに行く途中何気なくポイ捨て、戻って来る時自分で捨てたタバコを裸足で踏んでしまい火傷した。以来ポイ捨てはしない。】

ケース 3

【浅瀬で貝拾いをしていたら、貝殻で手を切ってしまいました。急いで消毒しようと足を出した時今度は足の裏に激痛、よく見るとビンの破片が深々と刺さっていました。自然の貝殻で怪我をしたのはしょうがないけど、こんな所にビンを捨てた人は許せません。】

ケース 4

【腰ほど海につかり、友達と追っかけっこ。突然足が何かに挟まれそのまま頭から海の中へ、なんで自動車のタイヤが埋まっているんだ！2 週間ぐらい捻挫が直りませんでした。】

ケース 5

【釣り竿かかえテトラポットを歩いていると、足を滑らせ海面へ。なんとか脱出したものの、両足はフジツボに引っかかり血だらけ。自業自得ですが今でも傷跡が消えません。】

靴やサンダルを履いていれば、怪我をしないで済んだケースも多いようです。格好を気にする人はマリンブーツなど履いてみてはいかがでしょう。

■　さわらぬ神に・・・・・。「海の生物でひどい目にあった。　5.1％」

誰でも水族館や図鑑などで１度や２度は見ているはずの“海の危険生物”。「姿や形が綺麗だから持って帰ろう」「たしかこの生物は食べられるはず」などとうる覚えの知識で接するとひどい目にあいますよ。充分な知識の無い人は、海では「さわらぬ神に祟りなし」が無難のようです。

ケース１

【“なまこ”と思いクーラーボックスの中へ。クーラーは紫色になるし、ネバネバになるしひどい思いをしました。“うみうし”と分かった時は後の祭りでした。】

ケース２

【浜辺でバーベキューをしていました。味噌汁の具にと波打ち際に浮いていた海草をちぎって鍋の中へ、かなり磯臭かった。数十分後急にお腹が痛くなり、アンハッピーでした。】

ケース３

【磯遊びの最中、手のひらに入るくらいの魚を発見。手ですくったら鋭い痛みが走り、数日間痛みがとれませんでした。後日図鑑で調べたら“ハオコゼ”という名で背びれに毒があるそうです。】

ケース４

【中学生の頃、“くらげ”を投げ合って体中がかぶれました。】

ケース５

【ダイビング歴 10 年です。沖縄の海を潜っていると“くらげ”が太陽の日をあび、ユラユラ輝いており、眺めていると長い透明な触角が数本顔にペチャ。顔半分に激痛がはしり、縦に３本真っ赤なラインがクッキリ、３日半寝たきりの辛い旅行となりました。】

沖縄などで大量発生する“ハブくらげ”。刺された人がショック死したり、重傷となったり毎年被害が報告されます。たかが“くらげ”と馬鹿にしてはいけません。

■　え！そんなものまで忘れるの？「忘れ物・紛失・盗難。　13.2%」

忘れ物や紛失は日々よくあることですが、海水浴など着替えをする場合はうっかりが多くなっています。今回の回答でも洋服や水着・サンダルを忘れたなどの回答が大半をしめています。
また、浜辺に荷物を置きっぱなしにして海へ入るケースで盗難も多く発生しているようです。

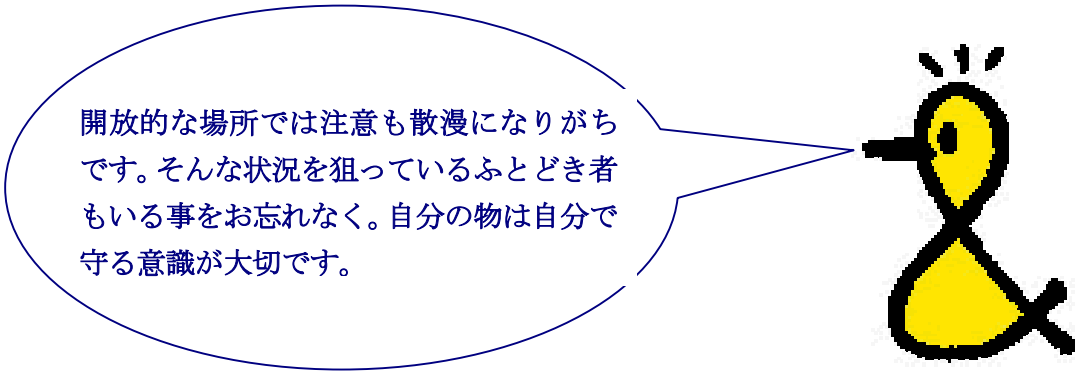
ケース 1
【買ったばかりのブランド品のサングラスを頭に引っ掛けて日焼け中。暑くなったので飛び込み台から海へドボン。1 回しか掛けていないサングラスは海底へ】

ケース 2
【女友達と海水浴。遊び疲れて浜に戻ると、手荷物全てが無くなっていた。すごく目立つ真っ赤なビーチマットの上に置いていたのに。】

ケース 3
【海水浴にはスイカでしょ。波打ち際に穴を掘りスイカを埋めて、目印にと落ちていた棒を突き刺し準備万端。ひと泳ぎ終え、さあ食べようと目的地周辺へ行けども目印の棒がない。やっぱり拾った棒では目印にはならなかった。】

ケース 4
【浜辺にお金は置いていけないと、ビニール袋にお金を入れ海水パンツへ押し込んだ。腰の深さで遊んでいたのに、どこかにビニール袋が流された。お蔭で帰りは高速道路に乗れず一般道路で。】

ケース 5
【友達家族と車 2 台で海水浴へ。急用とかで友達夫妻は子どもを我々に預け、電車で先に帰りました。泳ぎも終わり、自分の車に子ども達を乗せて一路友達の家へ。すると友達が青い顔で俺の車は！？帰りに乗って来てと鍵を預かったのを女房共々すっかり忘れていました。】



■　笑っちゃ失礼！？「なさそうで、ありそうな体験談」

上記以外の調査では、第 3 位の回答が「水着がずれた・水着が脱げたなど」。圧倒的に女性の意見が多い項目で“波にもまれ、ビキニがはずれた”“海から上がったら水着が透けていた”などが多数を占めていました。

「体調不良」と回答した人は“食事後すぐに泳いだ”“アルコールを飲んで泳いだ”などが多く、自己管理への反省が書かれておりました。その他「排泄系」や「迷子」にも相当数の人の意見をいただきました。また、その他としては「いたずら」的な回答が目につきました。

以下は回答から「なさそうで、ありそうな」経験のいくつかをご紹介いたします。

【結婚してから久しぶりの海水浴、喜び勇んで砂浜へ。そこでおもむろに「ラジオ体操」、周りの人達の目がテンになっていました。だって泳ぐ前は体操でしょう？】

【海水浴場で飯盒でごはんを炊くことに。なかなか火が点かないので、無意識にズボンに入っていた紙袋に火を。アルバイト代２万円でごはんを炊いてしまいました。】

【家族で潮干狩りに行きました。探せど探せど貝の姿は見えず、疲れて前を見ると穴のあいたネットの向こうに２．３人の人影。恐る恐る入るとそこは宝の山、しばらくすると「ここは養殖場であり、貝を没収する」とのスピーカーの声が流れてきました。】

【お盆の時期に海水浴、気持ちよく泳いでいると水中の足が引っ張られる。ゲゲ！今日は 8 月 15 日！？必死に回りを見渡すと波止場で釣りをしていた人が大物が釣れたと竿を引いていた。】

【息子が泳いでいると思い、お尻をパシっと一叩き。息子と同じスイミングキャップと海水パンツがいるなんて。波打ち際にその子の親がいて、ひたすら謝りました。】

【休憩しようと海の家に入り、柱に寄りかかった途端、家が崩れた。】

【泳ぎから戻り我が家の陣地に。冷えたビールが置いてあり、買ってきてくれたんだと思いつつ飲んでいると、見知らぬカップルの怪訝そうな顔。海で泳いでいて 100ｍぐらい流されたみたいです。しかし、同じ犬マークのレジャーシートとは。】

【やっと買った念願のプレジャーボート、今日は家族と試運転。ボートのエンジンをかけようとしたら、持ってきたのは家の鍵だった。1日中ボート見学になっちゃいました。】

【バーベキューの準備をしていたら突然のスコール、とりあえず食材を一時車の中に。雨もあがり食事は大盛り上がり、さあ帰ろうと車を開けたら鼻も曲がるほどの悪臭。椅子の下に腐った牛肉と沢庵がころがっていた。】

【岩場で仲間と泳いでいるとスイカや桃が流れてきた。きっと誰か冷やしていたのが流れてきたのだと思い皆で食べちゃいました。しばらくして岩場を見上げると、海へ果物を落としている人たちがいました。聞いてみるとお盆のお供物だったそうです。南無。】

皆さん、楽しい夏をお過ごしください。